

地域の高等学校教育のあり方に係る意見を聴く会 意見概要
<長浜市PTA連絡協議会>

- 日 時 平成24年(2012年)8月21日(火) 19:00~21:00
- 場 所 長浜市立湖北文化ホール
- 参加者 長浜市PTA連絡協議会員 71名
- 主な意見 ※ 同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。

- 高校再編は、長浜市PTA連絡協議会としても非常に大きな問題として捉えている。この問題に関しては、各方面から様々な疑問や不満、不安が出ているが、それらに対する県教育委員会の回答は、しっかりとやりますなどと非常に抽象的なものが多く、聞く者にとっては誠実さが感じられないと思われるケースが非常に多いと聞いている。本当に地域のPTA代表として集まった皆さんの意見が計画に反映されるのか、反映されると約束してもらえるのか心配。この意見を聴く会が再編計画策定のための実績づくりのセレモニーなら、我々はこの会に参加する必要を感じない。
- 計画策定期間について、関係各所から意見を聴いた上で、9月中旬に計画案を提案し、その後計画案に対する県民や関係各所の意見を取り入れて、11月には計画を決定されるとのことだが、こんな短期間に県民などの意見を取り入れて、より良い計画が策定できるのか不安。9月中旬に予定する計画案の検討立案作業は、このわずかな時間に誰がするのか、本来なら外部の有識者や教育関係者などによる委員会にかけ、十分に時間をかけて検討すべきではないのか。
- 再編計画について、この問題の核心の1つは子どもたちの教育環境をより良くしようという視点から来ていると思う。そのために、計画には保護者や子どもたちが納得できる具体的なビジョンが必要。長浜市の教育検討委員会では、具体的な内容を盛り込んだ第2次提言に向けて検討を進めているが、県教育委員会は長浜市の教育検討委員会の第2次提言をどのように考えているのか。また、その提言を計画に反映させる考えは持っているのか。
- 実施時期について、昨年度出された計画原案では、統合や学科改編により4クラス約160名の子どもたちが湖北から湖北以外の区域に通学しなければならなくなっている。さらに、長浜北星高校の定時制も廃止となると、さらに多くの子どもたちが湖北以外へ通学せざるを得なくなってくる。遠距離通学となると、経済的、時間的負担も多くなり、進路選択に制限が加えられる場合が出てくる。計画の策定が必要なら、進学する子どもたちが減少する年度を実施年度として調整するなどの配慮があるべきではないか。その方が地域の納得が得られると考えるがどうか。
- 学校規模が小さくなっているとの話であったが、現在も小さい学校があることから考えると、そういった学校はしっかりと機能していないと言っているようにしか聞こえない。現在3、4クラスでやっている学校があるにもかかわらず、こういった学校は部活ができない、切磋琢磨できないことから大きくしていかなくてはいけないとの話だが、現在このような状況を作っていること自体が、そもそも問題ではないのか。
- 例えば、平成31年から湖北では100人くらい卒業生が減っていくが、その時を照準にして再編をすれば、保護者も子どもたちの進路を考えた時、早くから準備ができる。平成30年、31年など、先にしてもらえたら2年後、3年後ということで、今の小学生を持っている保護者としても

進路が考えられると思う。例えば、統合だけはこの年度にする、学科を増やすのは、子どもたちに良い再編であれば平成 27 年からする。あるいは平成 26 年からであってもよい。

- 時期のことだが、去年は今の高校1年生の子どもの中で、不安な気持ちで二学期を迎えた。9月に計画案が出て、11月に確定するのは拙速である。9月の計画案は、私たちはどのような案が出るのか不安なので、出していただくのは大変ありがたい。それを見ているような意見を汲み取っていただきたいと思うし、長浜の教育検討委員会の提言が遅くとも年内と聞いており、それも踏まえて計画を練り直していただき、さらに良いものにしていただいと考えると、11月に必ずしも決定する必要はないのではないか。検討委員会の提言等も踏まえて意見も聞いていただき、11月を来年の2月、3月にしていただき、十分に議論を尽くして欲しい。
- 現在の中学校3年生は、高校の三年間、影響があるのかないのかはっきり答えて欲しい。スケジュール、実施内容、例えば長浜北高校の名前が残るのか、長浜高校の名前が残るのか、場所はどうか。昨年の話では、長浜高校に新校を設置するとの前提の時に、通学に関して便が良いとのことだったが、電車で通学している生徒が何割いるのかも、県教委から数字で示してもらったことはない。予算や学校運営の問題があると思うが、学生のスケジュールは入学から始まる。中学校3年生は、6月の進路説明会で、中体連が始まる前に高校の先生から話を聞いており、そこから進路選択は始まっている。その段階で分かっているなければならないことがたくさんある。中学校2年生にとっても、スケジュールはそこから始まるかもしれない。中学校1年生に対する話し方もある。現場の先生方は特に。それをこういう場で聞きたい。この答えが、例えば9月の終わりにもう一回、きちっと確実に答えますとの返事が欲しい。
- 統合と廃校があるが、2つの高校が統合した年、2つの高校が廃校になるのは2年先か、すぐに廃校になるのか。在校生が残ったままで廃校になるのか、在校生が卒業してから廃校になるのか。
- 仮に今ここにいるPTA会員が全員一致した案があったら必ず受け入れてもらえるのか。当然、お互い立場があると思っているので、受け入れられる意見、受け入れられない意見があると思うが、私達の意見が受け入れられなかった時、どのような理由で受け入れられなかったのかをはっきりと示して欲しい。
- なぜこの時期にどうしてもやりたがるのか。平成 31 年の子どもが減る時期でもいいのではないかと、との意見は聞いてもらえる可能性はあるのか。いくら切に願っても期間の延長は絶対受け入れてもらえないのか。歴史の浅い高校をなくして、歴史の古い高校を残してはダメなのか。子どもの数が理由で高校を増やしたのなら、歴史の浅いところからなくしてもいいのではないかと。
- 100%反対しているのではない。行政がいろんなことを考えてやっていかなくてはいけないと思う。ただ、わずか一時間に様々な意見が出るほど問題が残っている中で、急ぐ必要があるのかと思う。今のままだと民意はどこに行くのか不安を感じる。早くするメリットがあるならそれも説明して欲しい。
- 時期の問題だが、最低でも今の中学3年生の子どもたちは全く影響がない、中学3年生の子どもたちが高校三年生になった時に、一年生の後輩が入ってくる、少なくともその時期は確保して欲しい。希望としては、人数が減る平成 30 年か 31 年に実施する案がこの9月に出るのであれば、なお良いと思っている。最低でも今の中学3年生には影響がないと約束はしてもらえないかもしれないが、意見を反映して欲しい。

- 実際に子どもたちの人数が減る時期までに統廃合などがされたとしても、定員を確保し欲しい。湖北地域から外に出て通学しなければいけない子どもたちが 160 人も出ることは親にとっても負担だが、子どもたちが一番負担になる。好んで遠い学校に行く子どもはもちろんいいが、近くに行きたいのに行けないことがないよう配慮して欲しい。
- 少なくとも統廃合するのであれば、受検する子どもたちだけでなく、その対象になる高校生への配慮も忘れないで欲しい。できることなら、今の長浜北高校と長浜高校の生徒も、在校生も含めて統合して、新校を設置するなどして、後輩がいないという時期がどの学年にもない配慮してもらえたらなお良い。何もかも反対というわけではないが、最大限の配慮を子どもたちにいろんな面でお願したい。
- 今の再編計画原案では、伊吹高校に長浜養護学校の高等部分教室を作るのは平成 25 年からとのことだが、伊吹高校を新たに建て増しはせず、特別教室を転用して高等部の伊吹分教室化をすとなっていると分かってきた。こうなれば通常の高校の教育環境は悪化するのには目に見えている。本当にしっかりやってもらえるのかますます不安になる。どうしてもっとお金をかけて校舎を増築したりしないのか。2教室だけ、特別支援の関係なので定員は 16 人分しか増えないとのことで、こんな小手先だけのことでいいのかと感じる。来年4月から行うとなっているが、どういう考えを持っているのか聞かせて欲しい。
- 長浜北高校と長浜高校を統合した場合、最低でも3クラス分が減ることになるが、伊吹高校も普通科であり、受け皿となるところが取られると、結果的に教室がなくなってしまう。湖北地域の普通科で確保することが難しくなる。以前は、虎姫高校の定員も増やします、統合した新校においてもクラス数を増やすとのことで、今まで通りの定員を確保するようにするとの話だったが、虎姫高校も、長浜高校も、長浜高校の敷地は特に、福祉学科もあり、長浜高校の敷地内に校舎の建て増しをしないと対応できないと聞いていたが、そんなことをするくらいなら、伊吹高校の空き教室を、単純に養護への転用ではなく、養護は養護の関係施設を建てて、普通科は普通科の部屋を残して対応すべき。統合には部屋が足りないので統合したら増築しますでは、今ある設備等を削られることにもなるので、新しい高校がそこにできたとしても本当にいい高校になるのか疑問。
- 高校再編により、1学年5から7クラスへと生徒定員増が予想され、統合後に向けた施設・設備を新設することが必要、と長浜高校の現場サイドが言っている。現場が言っているのに大丈夫なのかという心配がある。新しい施設を作らなければならないとの考えは今でもまだ持っているのか。
- 昨今、滋賀県でも大津で大きな事件が起きているが、今までは養護学校という同じカテゴリーの子どもたちが集まって楽しく勉強しているが、カテゴリーの違う子どもたちを併せることによって、どうい影響が出るかを考えてやっていると思う。今のところ、こういう影響が考えられたが大丈夫だとの回答はいただけるか。
- 看護師をしており、養護学校の子どもの事情で預かっていたことがあるが、子どもによって様々な特徴があるので、理想だが、ここが空いているからここではなく、安全で、例えば、急に多動になることもあるので、そういうことにも配慮して学校を考えて欲しい。普通科の生徒もここが空いているから増やすのではなく、できれば5年、10年のスパンで考えて、説明会でこういうふうを持っていきたいと考えていけるビジョンを9月に提案して欲しい。
- 学校規模について、計画原案では6～8クラスが最適だという案が示されているが、今、滋賀県

には6～8クラスよりも大きな学校もある。大きな学校は、6～8クラスまでの学校に小さくしますとの話にもなると思うが、その認識で間違いないかを確認したい。

- 6～8クラスについては、色々なところで、その根拠は何かという意見が出ているが、まだ確なもの示されていない。心配しているのは、今回の計画で6～8クラスだと決まってしまうと、今4・5クラスで残ったとしても、例えば5年後になったら、計画通りで行くと6～8クラスが最適なので、5クラスの高校は統合して6～8クラスにしますとの話になるのでないかとの不安を持っている。6～8クラスの適正規模の根拠を示していただきたい。
- 総定員は確保すると言うが、再編が進んでいったとしても、湖北の地域は大津や湖南と違い、私立に逃げるなどの受け皿はなく、県外などは経済的にも負担となる。定員の確保は、現状で確保していただくことを断言してもらいたい。
- 長浜北星高校のまちづくり系列の設置は、どのようなものをイメージしているのか。まちづくりと言っても、学校で勉強できるものではないと思う。学生にまちづくりはできないという意味ではないが、それまでにやるべきことが学生にはある。社会人になってからでも十分できることでもあるので考え直して欲しい。
- 長浜高校と長浜北高校の統合後の新校の学習について、英語もひとつかと思うが、イメージが掴みきれない。なぜ長浜北高校を統合するのかの話の中で払拭できないことは、県の財政の話になる。英語なら英語で特色を出して新校をつくると、はっきりとしたイメージを先に出してもらわないと、県の財政が厳しいのも分かっているが、結局はそっちが目的なのかとってしまう。そこが、不信感として持っているところ。学校を統合するだけでなく、学科を再編することについてももっと明確に聞く側が分かり、子どもたちからしても、勉強してそこに行こうと目指すようなプレゼンテーションを9月の段階でお願いしたい。
- 英語教育を特色とする普通科の話だったが、今では英語は当たり前で、もっと先を見て、できれば中国語くらいを取り入れたような、先を見越した魅力ある、子どもたちが行きたいと思える学校づくりを考えて欲しい。
- 南からも生徒を呼べる特色ある学校との話があったが、湖北の地域事情として私立の受け皿が圧倒的に少ないと考えたときに、なぜ統合の話が出てきたのか。南は京都でも大阪でも出られる、私立もいっぱいある恵まれたところ。我々にとっては、高校が重要な位置を占めているのだが、なぜ全県一区になって南からも呼べるのにこのような計画になったのか、そこが一番納得できないという疑問に思うところ。平成 18 年から全県一区になっているということは、大津から長浜に来てもらってもいいし、彦根から草津から来てもらってもいい。であれば、長浜に今のまま高校を残してもっと特色あるビジョンを示してきていただけるような計画は、元々なかったのか。
- 人間教育に関しての高等学校における新たな方策を、これを機会に打ち出して実行に移せないか。家庭教育が基本だが、学校に期待する部分が非常にある。道徳教育、人間を育てる教育を滋賀県で行って欲しい。それであれば、来年からの実施でも大いに賛成。
- 中学生に分かる、理解できるスケジュールを分かりやすい言葉で、中学の先生方が理解して私たちの質問に答えられるようなスケジュールで説明をお願いしたい。9月に出て、11月に決まるというのは予算の関係というのは、大人の事情であって、学校の事情ではない。この部分は県の教育委員会が知事か誰かと戦ってもらえればいいのか。スケジュールは変えられないのか。進路説明会が6月、7月にあって、9月に計画が出るのはおかしい。説明される先生が県

からこう聴いていますという答えがあつて、初めてこういう高校を選ぼうになる。中学校の先生もそういう情報を持って、6月に説明会があつて、1学期の最後に三者面談がある。そのときに分かりませんというのは、スケジュールがおかしいのではないか。

- 最終的に統合することになっているようだが、もう一度考えて欲しい。もう一度、子どものために、滋賀県を背負って立つ子どもに、立派な人間に育てるために。ただクラスが大きいだけがいいのでない。小さい学校もそれなりにいいことはいっぱいある。私は最後の最後まで反対したい。